



なはセン通信

Vol. 50



なは市民活動支援センター
(那覇市市民文化部まちづくり協働推進課)
〒900-0004 那覇市銘町 2-3-1
なは市民協働プラザ 2階
(2020年7月発行)



令和2年度なは市民活動支援センター講座開催決定！ 『NPO・市民活動のオンライン活用！ スタートアップ講座』

新型コロナウイルス感染症の影響により、社会活動の自粛を余儀なくされ、これまでの市民活動の停滞に繋がりました。現状で第2波が発生し、再び社会活動の自粛が必要となってしまった場合、社会問題、地域課題がさらに深刻化する恐れがあります。

第2波、第3波に備え、また新たな手段の一つとして、オンライン（インターネット）の活用を一緒に学びましょう！

【講座について】

オンライン会議の参加の仕方から、主催者となり運営まで学びます

開催日時：①8/22 ②8/29 ③9/5 ④9/12 ⑤9/19 ⑥10/3 ⑦10/17
am10:00～am11:40

※なは市民活動支援センターを拠点会場とし、2回目以降は各自都合の良い会場からオンラインで参加頂きます。
※連続した内容となっており、単発受講は受け付けておりません。

【申込みについて】

募集期間：7月22日（水）～8月14日（金）

対象：那覇市で活動を行う非営利の団体（NPO、自治会、小学校区まちづくり協議会等）に属する、パソコン、タブレットのいづれかをお持ちのかた。各団体から1名ずつ。
※パソコン、タブレットをお持ちの方。

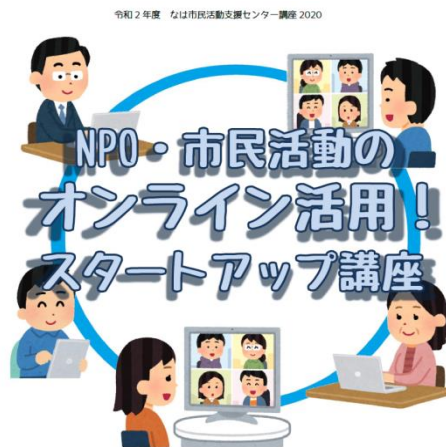
定員：20名（応募者多数の場合、当センター利用登録団体優先かつ、受講理由・動機を勘案します）

受講料：無料

申込方法：インターネットでの申し込みとなっております。ご了承ください。

右記のQRコードより、講座詳細ページへお進みください。

※講座についての電話、窓口でのお問い合わせは平日9:00～17:00まで



センターで活動されている皆さまの交流の場として活用ください！

第40回 Fun日カフェ開催！7/31(金)

12:00～15:00

フード＆物資ドライブ(ご家庭で余っている食品や日用品の寄付)も同時に受け付け！

100円でお飲み物(コーヒー・紅茶)おかわり自由です！

お昼を食べながらゆんたくしましょう



FUNNICHICOFFEE





新型コロナウイルス感染症による影響に対応する 市民活動団体の専門相談を受け付けます！

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、困りごとを解決するべく活動する市民活動団体事態の困りごとがたくさん寄せられています。

運営費の確保、活動する人員の減少など、このままでは活動が滞ってしまい、課題解決に影響が出てしまいかねません。

そういった、非営利団体の困りごとの解決に向けて、税理士や社労士が、団体運営に関することから団体の維持など、各分野の専門相談員が対応しますので、お気軽にご相談ください。

【対象】那覇市内に拠点をおく NPO、市民活動団体、自治会、小学校区まちづくり協議会など

【期間】8月～12月

【受託事業者】NPO 法人 まちなか研究所わくわく

TEL & FAX / 861-1469 E-mail / office@machiwaku.com



市民活動チャレンジ助成事業 交付団体決定しました！

6/30 まで公募しておりました「新型コロナウイルス感染症対応市民チャレンジ助成事業」にて、多くの団体よりお申込みいただきましたが、厳選なる審査の結果、下記の7事業に交付が決定しました。今後は、センターとして可能な限り協力させていただきます。

【事業一覧（敬称省略）】

- ・STEM おきなわ：「COVID-19 第2波においても学びを止めない教育チャレンジ事業」
- ・災害プラットフォームおきなわ：「アンダーコロナにおける地域防災モデル調査事業（曙小学校区）」
- ・ // 「感染症拡大と緊急事態下における市民活動連携及びBCP提案事業」
- ・地域サポート若狭：「わかさオンライン学習支援プロジェクト」
- ・曙小学校区まちづくり協議会：「パーラー公民館の再開事業」
- ・しんぐるまざーず・ふぉーらむ：「コロナ禍におけるひとり親と子供のためのセーフティーネット構築事業」
- ・VONS：「新型コロナウイルスの影響で困窮した市民に食糧を届ける
高校生など学生によるMUGむぐプロジェクト（まーさん、うちなー、ごはん）」

「なは市民活動支援センターよりお願い」

新型コロナウイルス感染症対策として、プラザ入り口並びに各階のエレベーターホールに除菌用スプレーを設置しております。入館の際はマスクの着用、手洗いうがいなど、各自で拡散防止対策を行ってください。また、発熱のある方の入館はご遠慮ください。

各会議室には清掃用具とアルコールスプレー、雑巾を常備しておりますので、会議後の清掃と合わせて、換気を行いながら会議運営ください。

2階小会議室、交流スペース、情報スペースをご利用の際はカウンターに消毒液を用意しております。使用後の清掃にご協力お願いいたします。





「知らないことは人に聞か
を、モットーに過ぎてきたわたくし...
自分で調べると、
情報迷宮から出られなくなってしまうんです。
ですから、教えてください。」

シリーズ第13弾!

「何をしているトコですか?」

当センターの3階には、まちづくりに関わりの深い団体が入居し活躍されています。
そこで、それぞれの団体の活動内容や、今後の目標などをここで紹介していきたいと思います。

新都心安全なまちをつくる会

—「新都心安全なまちをつくる会」とはどういった団体ですか？

会：新都心（天久、おもろまち、銘苅）の開発が始まって、施設住宅が立ち並ぶなか空き地も目立ち、安全・安心のまちの形成に平成15年ごろから活動していますが、設立は平成16年ですね。当時、中部でも同じように都市開発が行われていた地域で事件や事故が発生し、住みよい地域を目指す思いで、安謝、曙を加え、新都心地域の安全と形成を守るために地域自治体、学校、企業、行政、警察がひとつになって立ち上がった団体です。現在は80団体の会員となっています。

—普段はどういった活動をされているんですか？

会：現在でも、年に5回ほど新都心エリアの防犯パトロールを行っています。地域自治会、企業、学校関係者、行政の方々が参加していただきますが、警察学校の学生にも参加してもらった年もあります。

また、街の景観を維持することも防犯に繋がりますのでCGG年末美化清掃で新都心地域及び周辺地域の清掃を行ったり、新都心地域の自治会や企業各団体に歩道やの道路の緑地帯を管理してもらっています。自然と街に愛情が湧いてくるでしょ。

あと、新都心で暮らす子供たちの郷土愛を築きたいという思いから「竹あかり祭り」を実施して、新都心独自の文化を構築しているところです。熊本県から竹を取り寄せて、その竹にデザインをして穴をあける加工すると、竹の灯籠が完成します。

正直、とても骨の折れる作業ですが、祭り当日は竹からもれる柔らかい幻想的な光の中を浴衣で歩くだけでも子供たちは笑顔になりますし、保護者たちにとって思い出になるんですよ。そういった、思い出が郷土愛に繋がっていくと思います。



—新都心安全なまちをつくる会の今後の目標を教えてください。

会：まだ25年未満の町ですが、まだまだ変わっていきます。中環状線（おもろまち駅～天久）の大きな通りに誰もがわかるような名前をつけたいですね。子供たちに公募して、将来的には「新都心と言えば〇〇通り！」って言ってもらえるような名前をつけたい。それも郷土愛に繋がりますからね。

残念ながら、コロナの影響があって今年は実施しませんでした。来年は那覇市制100周年の年ですから、今までより少しパワーアップして「竹あかり祭り」を行いたいですね。準備も今まで以上にかかると思うので、多くの方に携わっていただきたいと思っています。



「ひとりひとりが
地域に関心をもって、
地域の子供たちを守りましょう!」

上原 幸吉会長

15～6年前の新都心エリアの風景を思い出しながらお話しを聞いておりました。天久解放区が現在の街並みになるまでに多くの方の努力、協力があつたんだということに気づかされます。未来の街並みがどうなっているか思うだけでなく携わっていきましょう





助成金等情報



『Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs』

募集期間：2019年7月16日（木）～7月31日（金）必着

内容：「組織診断からはじめるコース」：1団体への上限100万円

1年目に組織診断によって組織の優先課題と解決の方向性を明らかにした上で組織基盤強化計画を立案し、2年目以降組織課題の解決や組織運営の改善に取り組むコース。

「基礎基盤強化コース」：1団体への上限200万円

既に組織の優先課題と解決の方向性が明らかとなっており、立案した組織基盤強化計画に基づいて、1年目から具体的な組織課題の解決や組織運営の改善に取り組むコース。

(※助成総額は両コース合わせて、海外助成1,500万円、国内助成1,500万円 合計3,000万円)

助成対象：「海外助成」：新興国・途上国内で貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解消に向けて取り組むNPO

「国内助成」：日本国内の貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解消に向けて取り組むNPO

- ①民間非営利団体であること。(法人格の有無は問いません。一般社団法人・一般財団法人の場合は非営利型のみ)
- ②日本国内に事務所があること。
- ③団体設立から3年以上であること。
- ④有給常勤スタッフが1名以上であること。

【お問合せ】 パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部CSR・社会文化部

海外助成協働事務局 認定特定非活動営利法人国際協力NGOセンター

TEL:03-5292-2911 E-mail:pnsf-sdgs@janic.org

国内助成協働事務局 特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

TEL:03-5623-5055 E-mail:support-f@civalfund.org

※最新の情報や詳細は、各お問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。



R2・7月現在
感染症拡大予防ガイドラインにより、収容人数が概ね
半分程度とされています

会議室 料金一覧表

会議室①	84人	¥1,300/1h	¥400/1h
会議室②	36人	¥650/1h	¥200/1h
会議室③	45人	¥650/1h	¥200/1h
会議室④	18人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑤	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑥	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑦	12人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑧	24人	¥250/1h	¥100/1h
研修室①(和室)	16人	¥200/1h	¥100/1h
研修室②	17人	¥200/1h	¥100/1h

駐車料金	☆基本料金	
	最初の1時間まで	300円
	最初の1時間を超え30分ごとに	100円
	☆市民活動目的の場合(減額適用)	
	最初の2時間まで	100円
	最初の2時間を超え1時間ごとに	100円

2020年3月より、なは市民協働プラザの駐車場は有料となりました。

印刷機 使用料

白黒・A3サイズ以下	¥1/枚
カラー・A3サイズ以下	¥4/枚

※内容確認のため、原則として印刷物の一部提出をお願いしております。
※印刷用の用紙もお持ちください。
※USB等のメディアからは直接印刷できません。

お問合わせ なは市民活動支援センター

〒900-0004

那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ2階

TEL: 098-861-5024 / FAX: 098-861-5029

メール: C-KATU005@city.naha.lg.jp

